

SDGsの取組みPR

記入日：3年1月18日

①タイトル	3年生 統一LHR「国際理解教育」
②関連する ゴール	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>住み続けられる まちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ターゲット 11. 3</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>パートナーシップで 目標を達成しよう</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ターゲット 17. 17</p> </div> </div>
③目的・概要	<p>本校は平成25年度から継続的にグローバル教育に取り組んでいる。近年、ESDやSDGsの存在を知り、本校の教育活動や教育指導の重点に「持続可能な開発に関する教育」を導入した。平成29～30年度は国際理解教育係が含まれた「学校活性部」が、令和元年度からは「SDGs推進委員会」と教務部に内在した「国際理解教育係」が中心となり、SDGsの推進及び活動に取り組んでいる。</p> <p>今回のPRは、大垣工業高校国際理解教育の一環として、外部講師による講話を実施した。本校において上記二つのSDGの達成に資する活動であると捉えている。</p>
④詳細	<p>【取組内容】 実施日時 11月19日（木）6限 対象学年 3年生（289名） 講師 檀原 悠介 教諭 （大垣東高等学校 地歴公民科）</p> <p>地球横断旅行を完遂された檀原先生が、訪問した国々について自身の体験を交えながら紹介し、国際理解に関する様々な思いを発信して下さった。「経済的に貧しくても、幸せに暮らしている人たちはたくさんいる。可哀そうだと感じるのは勝手な私たちの見方だ。偏見をなくし、人として接することが国際交流の第一歩」は大きなメッセージであった。</p> <div style="text-align: right;">  <p>写真1 国・人・文化について紹介</p> </div> <p>【生徒アンケート結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外へ出て自分の価値観を変えたい ・海外の人と交流することで自分に足りないものが分かる気がする ・貧しい＝不幸でないことを知った ・インターネットの情報だけでなく、実際に体験して判断することも大切 ・英語ができないだけで国際交流を諦めている自分に気付いた ・目に見えることだけが本当のことではないと知った ・価値観の多様性を知った ・貧しい国の人は可哀そうだという見方は、人を見下した思い上がりだと感じた <div style="text-align: right;">  <p>写真2 クイズ形式で生活様式を紹介</p> </div> <p>【まとめ】 価値観の多様性や他者を受け入れることの重要性、コミュニケーションで大切にすべき心などに気付くことができ、大変有意義な講話となった。</p> <p>【連絡先】 岐阜県立大垣工業高等学校 (0584-81-1280) 国際理解教育担当：廣瀬</p>
⑤関連URL	大垣工業高校ホームページ https://school.gifu-net.ed.jp/ogaki-ths/
フリガナ	ギフケンリツオオガキコウギョウコウトウガッコウ
会員名	岐阜県立大垣工業高等学校